

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃～+85℃（注1）△1	保存温度範囲	-10℃～60℃（注3）	
	使用湿度範囲△1	40%～80%（注2）	保存湿度範囲△1	40%～70%（注3）	
	電 圧	AC 250 V	UL・CSA 定格	AC 30 V	
	電 流	2A		2 A	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐 電 圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	適合コネクタと嵌合させて試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm で 3方向 各 2 時間試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40 ± 2 °C, 湿度 90 ～ 95 %中に 96 時間放置する。	① 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 5～35 → 85 → 5～35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル試験する。	① 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
備考					
(注1) 通電による温度上昇を含む。					
(注2) 結露のないこと。					
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。基板搭載後の輸送時の一時保管は、使用温湿度範囲を適用。					
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402 を適用している。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△1	3	DIS-H-008583	MI. SAKIMURA	HK. UMEHARA	14. 03. 25
			承認	KJ. KATAYOSE	05. 01. 05
			検 図	TY. OMA	05. 01. 05
			担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
			製 図	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-160049-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF11-*DEP-2A	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL543	△1 1/1